

小麦粉ねん土あそび

(2/7(水))



以前から おみせさんの本を見て おいそうなパン!!と
声が高かったこともあったので、粘土とは異なる感触も
味わいたくから パン作りができるよう、子どもたちと準備しました!!

R5. 2がわ
庚子(ことり)

No. 1



きもちいいよ☆
ふにふにふに♡



みてみて~!!
かたまってきたよ♡

びよ~ん!!
のびたよ!!



何ぞ
つくろうかよ♡

柔らかさを手で
こねて味わってからは、
どんな形にしようかよ!??
考えながら
形を作っていく
ました!!

“こねこねしてみたいと小麦粉と
水や油、塩を入れ、固まるまで”こねていきました!!



とん!とん!とん!
うす~くのばすんだ☆



こね
こねよ

やわらかい♡

やけかよ!?

色が
ついたよ♡



1順番に焼き上がるのを
待ちました。
自分のだけではないよ
お友だちの物もどのように焼けるのか
じっくりとゆっくりに見ていました♡



初めて触れた
感触に感動した
様子で
気持ちいい♡と
お友だちに伝え合っていました!!

小麦粉ねん土あそびを振り返って...

R5. 2から
庚子(ことり)
No.2

普段から油ねん土で“おたんごせん”“うんせん”など、食べ物を作り、あかせせんとなり。
 子ども同士でセツセツをすることもありますが、実際は作ることと、作る過程にも興味を持つ
ことができたなら良いなという思いであそんでいきました。“パンを作るには小麦粉を使うこと”や
“水を調節していくこと”“こねていくことで様々な形に変化していくことができること”など、
 実際は自分の力で作り上げていくことにより、分かる感触、感覚が一人ひとりあったようです。
 また、作ってから、お友だちの作ったものを見せ合った時には、「～くんのおいしそう!!」
「これは何の形のパン？」と伝え合う様子が自然と生まれました。
 今回は食べることを目的とはしていませんでしたが、今後、作って食べる際に、小麦粉ねん土作りを
思い出し、1つの経験として考えるきっかけとなる良いなと思います。

パンから
海の音が
するよ!!



素敵な発想ですね
パンの音を聞いてみること
りくくらしい発想ですね

＜10の姿＞
言葉による伝え合い、思考力の芽生え、数量や図形などへの興味・感覚
協同性 自立心

焼き上がり
完成しましたー



みんな
どんなパン
作ったのかな



まだちょっと
あつたが～い



みんなのパンが完成
パンせん 開店です

* ひな人形製作 *

3月3日のひなまつりに向けて ひな人形を作りました。
 ホールに飾られている ひな人形を みんなで見に行き、
 何を持っているのかよ!? 被っているのは何かよ!? とじっくりと 見ました。

R5. 2がっ 突り (こり)

No. 3

早速、おひな様、おだいす様をどのようなお顔をしていたか
 思い出しながら、クレヨンを使い 描いていきました。



かわい
お顔
たいこ
持っているよ



私のお家にもある多々
 比べてみたり、この時期に
 しか見ることできい
 ひな人形に、身乗り出して
 見てました。

紙コップ型です

折り紙に挑戦

おひな様、おだいす様用の和柄の
 折り紙をそれぞれ選び、まず1目は
 担任と一緒に 見本を見ながら
 折り進めていきました。
 2目は、思い出しながら それぞれの
 カで折っていきました。
 簡単だったことから
 「任せて!!」と 自信を持って折る様子が
 あり、すっかり覚えた様子でした。

きれい
そ〜と多
おひな様は
こっちにする〜



1つ作ったから
もう1かたはよ
がんばるよ

折り紙は、手、指を使い
 力を調節することが求められ
 ます。作っていく中で
 自然に 忍耐力、集中力が
 身に付く効果があると
 言われています。

のりを使って 台紙に貼ります。のりが少ないと（はずれてしまいますが、多量に色紙はこうに付いてしまう。等 試行錯誤を繰り返して完成しました。 R5. 2がっ 実リ（こり） No.4.



ひな人形製作を振り返って...

お店や、お家にあることで見たことがあるお友だちがたくさんいました。作る前はひな人形を見たことで改めてどのようなお顔をしているのかや、何をしているのかなどじっくり見ることができ、頭の中でそれぞれ想像しながら描き、表現することができたように思います。

今回の製作に比べて **描く** **折る** **貼る** **書く** とたくさんの工程がありました。子どもたちの中で“大変”ではなく“作る楽しさ”、完成を楽しみに出来るよう、クリスマスまで同じタイミングで作る所、個別に作るころと分けて行っていました。その為、みんなで作る際には同じ空間、環境であるからこそ、同じ目的、思いのもと作ることができ、細かいところは、“やりたい”と決めた際には、自分のタイミングで行い、それぞれのタイミングで完成することができました。

季節の製作として、今の季節感を感じながら作ることもできました。作ることが大好きな子どもたちなので、こからの工作あそびや製作の中で、今、持っている豊かな感性と表現を大切にしていきたいと思っています。

お名前を書いたのは、平仮名を書いたことと、声もあったので、担任が書いたものをなぞって、自分自身で書く様子もありました。

＜10の姿＞
 協同性 自立心 思考力の芽生え
 豊かな感性と表現 言葉による伝え合い



えのぐあそび



今回の製作の際にもえのぐを使用した際に「えのぐって楽しい!!」と興味を持ってくれています。

R5. 2がつ 突ッ (ニッリ)

No. 5

今回は、自由画と、スポンジにじみ絵、ビー玉転がしの3つの種類で行っていきます。

好きな色を好きなだけ使い、色を混ぜ合わせる様子もあります。



こは
オレンジに
する!!



この色に
するよ!!

めり
めり!!



みて
できたよ!!



じが
できたよ!!



水をふくませた
スポンジに
えのぐをしみこませ
模様を
作ります!!

えのぐあそびを振り返って

夏期保育等で素手で触れからしばらく経ち、今回は筆、スポンジ、ビー玉と物を介してのえのぐあそびとなりました。カの入具合が太く、細く、感触、視覚、手先の運動機能が楽しめながら養うことができています。また、テーマをあえて設けなかったことで、それぞれが自由にイメージしたものを絵として表現し、心から楽しんでいてのように思います。満足のいくまでゆとりとじっくりと時間をかけ、一人ひとり素敵な作品となりました。思いを表現していくことの大切さを改めて感じました。



たのしい!!

手が
にじいろに
なってる!!

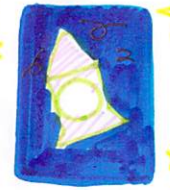


ビー玉
ころがし



この色に
決めたい!!

ビー玉転がしは筆を使わずに、ビー玉に色を付け用紙を入れた段ボール内を「コロコロ」と転がしながら色を付け、偶然できる模様を楽しみました。



<10の姿>

協同性 言葉による伝え合い、自立心 思考力の芽生え 豊かな感性と表現